

独自の技術で、未来を拓こう。

マンガでわかる!

吉村油化学ものづくりリアルストーリー



営業

伊藤



研究

田中



生産

浅野



検査

高橋

吉村油化学
同期4人による

新製品ができるまで

吉村油化学に
入社して3年！

同期4人は
それぞれの部署で
がんばっていた

おーい
田中！

田中いるか！

おお
伊藤

どうしたんだ
そんなに慌てて

J P ペイント様に、新しい水性
塗料に使う樹脂エマルジョンの
提案をしたんだ。
そしたら興味持ってくれてさ！

お前なら
作れるよなっ

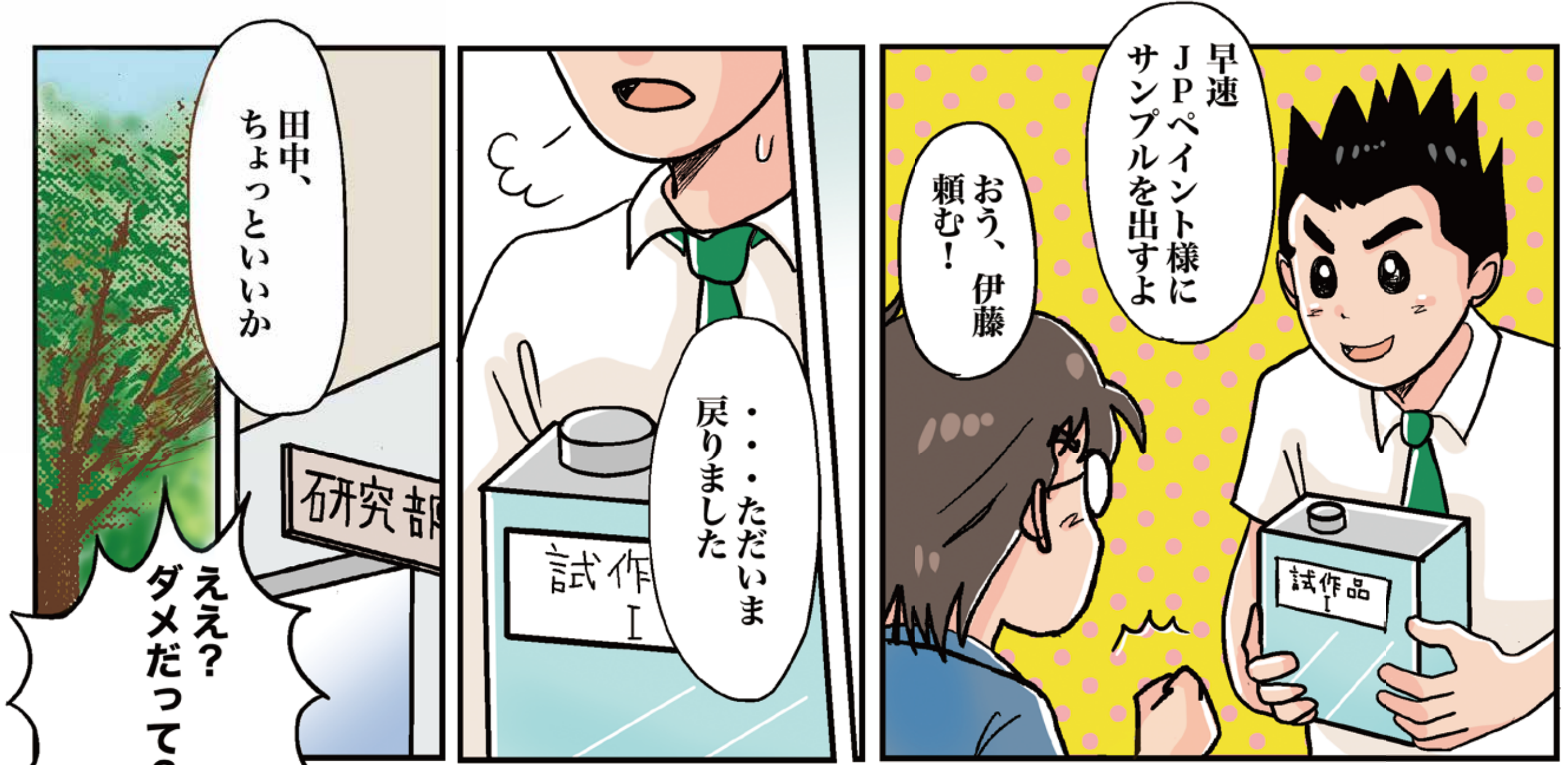
おっ、おおっ
まかせとけ

こうして、桜が咲く春頃
僕たちの新製品の開発が
スタートした！

伊藤！
できたぞ！

新しい
樹脂エマル
ジョンだ！

いくつもの実験を行い、
検証→改善を繰り返し！



田中、
ちよつといいか

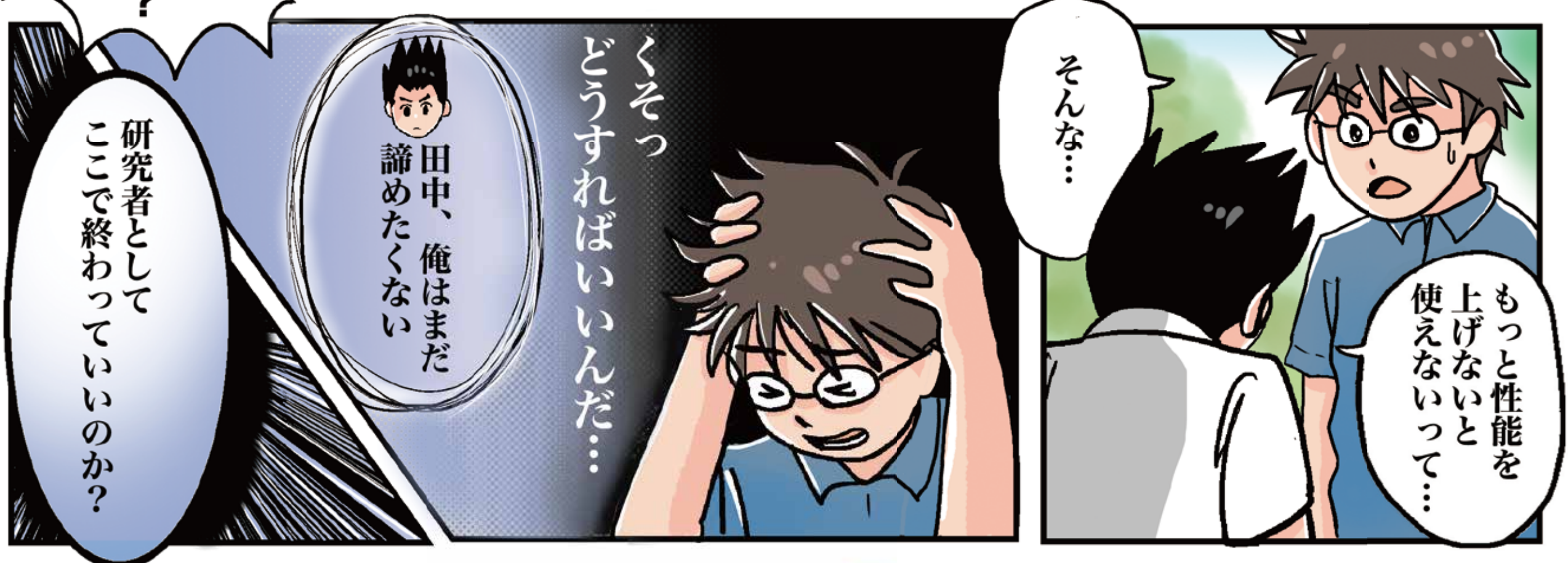
研究部

……ただいま
戻りました

早速
JPペイント様に
サンプルを出すよ

おう、伊藤
頼む！

試作品
I



くそっ
どうすればいいんだ……

そんな……

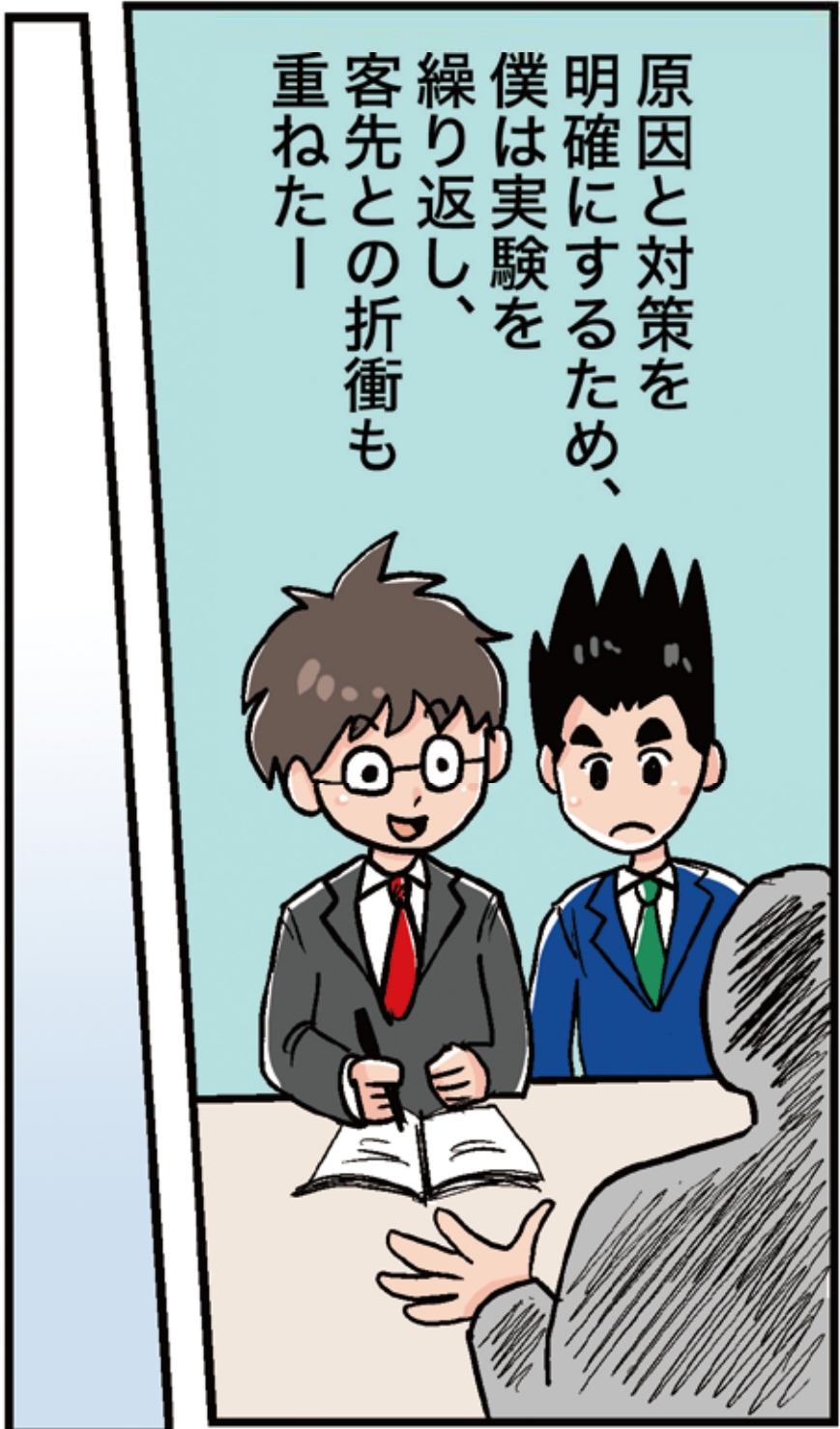
もっと性能を
上げないと
使えないって……

田中、俺はまだ
諦めたくない

研究者として
ここで終わっていいのか？



そして秋――

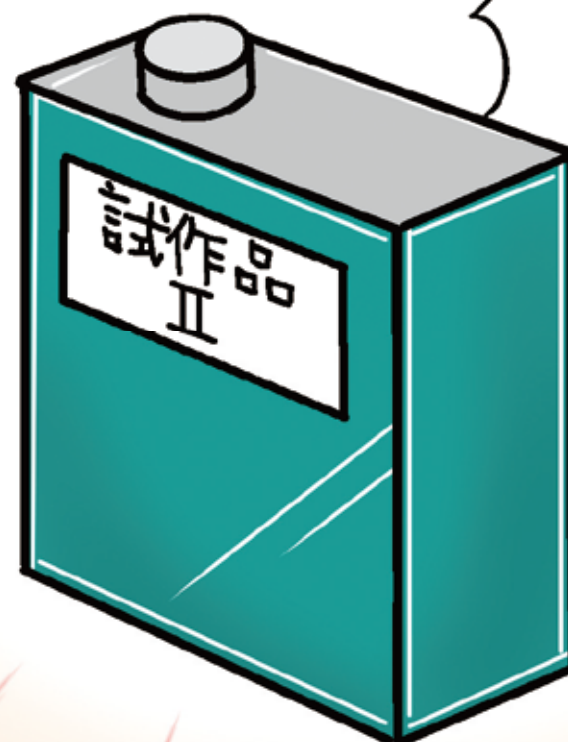


原因と対策を
明確にするため、
僕は実験を
繰り返し、
客先との折衝も
重ねた！



いいわけがない！

よしっ今度こそ
条件をクリアする物が
出来たぞ！



田中！ありがとう！
俺、リベンジして来る！

やったぜ田中！
先方も満足して
くれたぜ！

生産の浅野に
かけあってみるよ

よし！早速
量産体制だな！

ダメだ〜！

いつも同じ工程で
失敗してしまう〜

そして冬ー

田中、
すまん。
お前が開発
してくれた
物を…

浅野、ここの
工程が難しい
のか

いやいや、
ちよつと考えたんだけど、
ここをこうしたらどうだろう？

おお！なるほどな！
ここも変えたら
うまく行くじゃないか

僕たちは何度も工夫を重ねたー

そしていよいよー

田中！来てくれ！

全工程
問題クリアだ！

やったな！
浅野、ありがとう！

残るは検査だけだ

高橋、
僕たちが
作り上げた
樹脂エマル
ジョン。
しっかり
検査してくれ

検査室
おう、でも
妥協はしないぜ
厳しく検査させてもらう

さまざま検査を経てー

合格だ

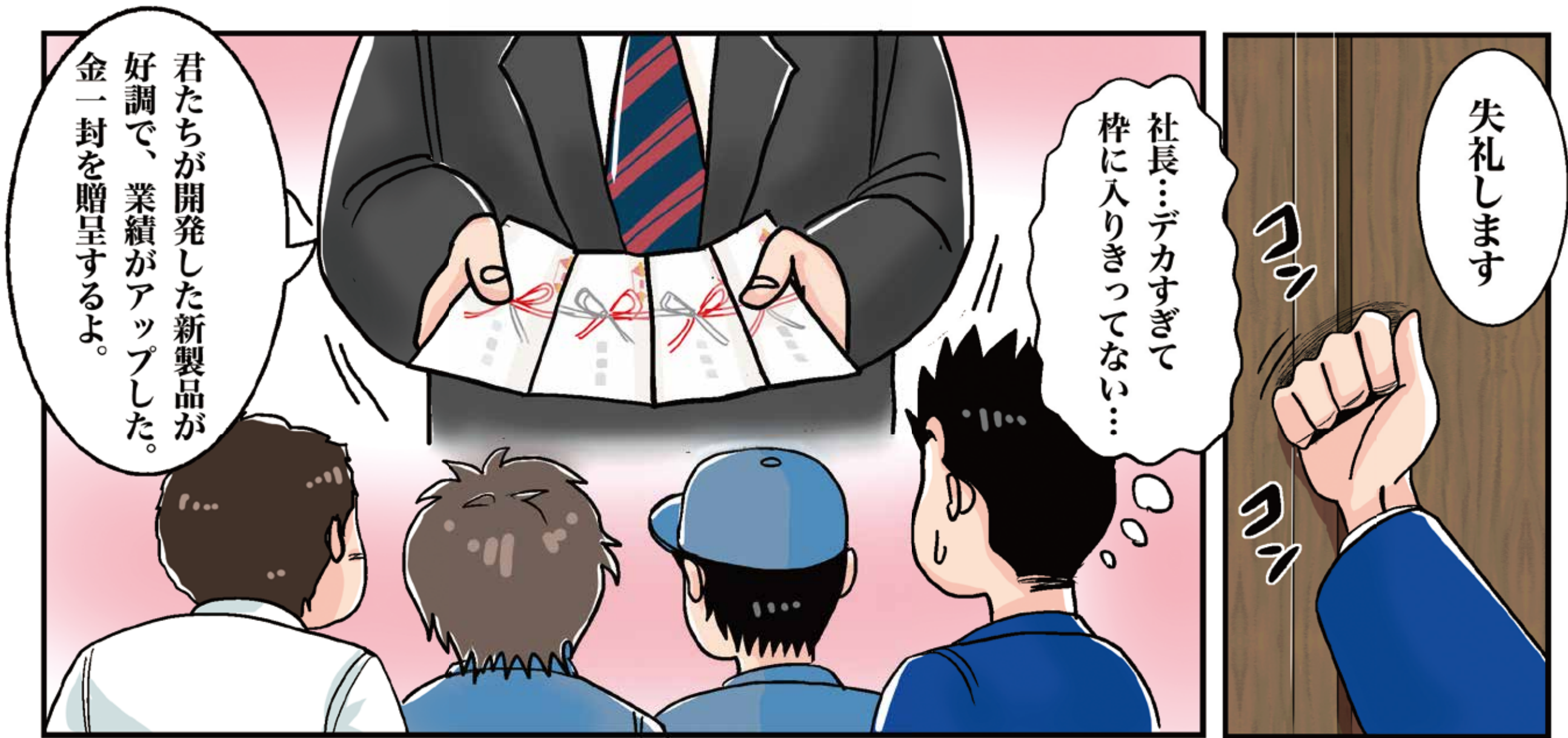
この樹脂エマル
ジョンは
量産可能だ

本当か！

製品化された時

季節は一巡し、僕たちは
入社4年目に入っていた

この樹脂エマルジョンを
世に出して1年。
想定を超えた
ヒット商品となったのだ



失礼します

社長…デカすぎて
枠に入りきってない…

君たちが開発した新製品が
好調で、業績がアップした。
金一封を贈呈するよ。

いやーまさか
金一封がもらえるなんて

あの時
諦めなくて
よかったな

苦しい時も
あったけどな

同期の
チームプレー
だな！



また金一封
もらうぞお

さあ、また
新しいテーマに
向けて動くぞー

お前、動機が
ヨコシマ…
まあ、単純に
嬉しいけどな

このお金で
焼肉行こか！
賛成！

—いかがでしたか？

吉村油化学で
今度はあなたが
未来を
つくりませんか？

